

1 2 a 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <7.0%

1 2 b 65 歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <8.0%

※糖尿病の治療には運動療法、食事療法、薬物療法があります。運動療法や食事療法の実施を正確に把握するのは難しいため、薬物療法を受けている患者のうち適切に血糖コントロールがなされているかをみることにしました。

HbA1c は、過去 2～3 か月間の血糖値のコントロール状態を示す指標です。各種大規模スタディの結果から糖尿病合併症、特に細血管合併症の頻度は HbA1c に比例しており、合併症を予防するためには、HbA1c を 7.0%以下に維持することが推奨されています。したがって、HbA1c が 7.0%以下にコントロールされている患者の割合を調べることは、糖尿病診療の質を判断する指標の 1 つであると考えられます。ただし、インスリンが必要でもインスリンを打てない高齢者、認知症があり食事したことを記憶できない患者、低血糖を感知できない糖尿病自律神経症を合併している患者、狭心症があり血糖を高めコントロールした方が安全である患者など、各患者の条件に応じて目標値を変えることが真の糖尿病治療の“質”であり、専門医があえて HbA1c を高め維持している患者もいます。したがって、すべての患者で、厳格なコントロールを求めることが正しいとは限らないことも忘れてはなりません。より高い値が望ましい。

調査対象期間	糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数 (うち 65 歳以上の患者数)	分子数 <7%	コントロール率	分子数 <8%	コントロール率
2021 年 07 月～2022 年 06 月	1,198 (830)	558	46.6%	672	81.0%
2021 年 10 月～2022 年 09 月	1,266 (879)	599	47.3%	714	81.2%
2022 年 01 月～2022 年 12 月	1,285 (883)	594	46.2%	701	79.4%
2022 年 04 月～2023 年 03 月	1,335 (923)	555	41.6%	703	76.2%
2022 年 07 月～2023 年 06 月	1,371 (957)	587	42.8%	763	79.7%
2022 年 10 月～2023 年 09 月	1,202 (839)	514	42.8%	672	80.1%
2023 年 01 月～2023 年 12 月	1,422 (988)	701	49.3%	815	82.5%
2023 年 04 月～2024 年 03 月	1,380 (954)	660	47.8%	772	80.9%
2023 年 07 月～2024 年 06 月	1,409 (787)	657	46.6%	787	81.7%
2023 年 10 月～2024 年 09 月	1,457 (982)	700	48.0%	802	81.7%
2024 年 01 月～2024 年 12 月	1,422 (946)	664	46.7%	775	81.9%

(参考) QI 推進事業参加病院の平均値<7.0%

2019 年度 47.7% (前年比△2.1)
 2020 年度 47.1% (前年比△0.6)
 2021 年度 47.3% (前年比+0.2)
 2022 年度 48.2% (前年比+0.9)
 2023 年度 50.0% (前年比+1.8)

QI 推進事業参加病院の平均値<8.0%

2019 年度 68.1% (前年比ー)
 2020 年度 77.8% (前年比+9.7)
 2021 年度 77.7% (前年比△0.1)
 2022 年度 78.5% (前年比+0.8)
 2023 年度 79.2% (前年比+0.7)